

令和4年2月

大野市教育委員会定例会  
会議録

日 時：令和4年2月18日（金）

午前9時00分～午前10時00分

場 所：大野市役所 大会議室



## 大野市教育委員会 2月定例会 次第

令和4年2月18日(金)午前9時00分～  
大野市役所 大会議室

### 1 開会

会議録署名人 馬道委員 松谷委員

### 2 1月定例会の会議録の承認について

### 3 教育長重要事項報告

### 4 議事

議案第4号 令和4年3月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について

議案第5号 令和4年3月大野市議会定例会提出議案（当初予算案）について

議案第6号 大野市結の故郷伝統文化認証審査会委員の選任について

### 5 付議事項

1) 第四次大野市子ども読書活動推進計画（案）について

資料1

2) 3月の行事予定について

資料2

・ 3月定例教育委員会 3月28日（月）午後3時30分～  
大野市役所 大会議室

### 6 その他

1) 2月の業務報告について

資料3

2) その他

### 7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員（教育長職務代理者）	馬道保
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
	委員	羽生たまき
事務局（説明者）	事務局長	真田正幸
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	こども支援課長	加藤智恵
	生涯学習・文化財保護課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課企画主査	藤本久実子

<傍聴者>

1人

## 【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会 2 月定例会を開会する。

## 【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、馬道委員、松谷委員にお願いします。

## 【1 月定例会教育委員会会議録の承認について】

【教育長】事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】1 月定例会議録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認する。

## 【教育長重要事項報告】

【教育長】本日も、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染者が昨日ついに 300 人を超え、一向に収束の気配を見せず、市内でも多くの感染者が確認されている。

教育委員会としては、従来の感染対策を徹底するとともに、自宅待機となった児童生徒へのオンライン学習など、可能な限りの対応策を講じてきた。しかし、コロナ禍が長引き、子どもたちが不安で不自由な生活を余儀なくされていることを大変心苦しく思っている。

先般文部科学省が発表した令和 2 年度の不登校児童生徒は 19 万人を超え、過去最多となった。その中で特に気がかりなのは、何となく学校へ行けないという漠然とした不安を訴える子の増加である。不登校の理由を自身が自覚できなかったり、表現できなかったりする子どもたちが増えている。意図せぬ家庭環境の変化や通常でない学校生活に起因するコロナ禍が生んだ新しい不登校の形の可能性がある。

一方、いじめの認知件数は減少している。しかし、これは多忙化に拍車がかかる教育現場で見逃されたり、SNS 上で見えにくくなったりした結果と認識すべきでないか。今や新型コロナウイルスに、いつ、どこで、だれが感染して

もおかしくない状況となっている。そんな中、園や学校の果たす役割の重要性が再認識されている。園や学校は、保育や教育の機能だけでなく、子どもたちにとって最も身近な居場所である。また、子どもたちが発するちょっとしたサインを保育士や教員が敏感にキャッチできる発見の場でもあり、その情報を必要に応じて専門の関係機関等へつなぐことができる窓口でもある。

園や学校が持つ「居場所機能」「発見機能」「窓口機能」のこれら三つの機能を最大限生かして、子どもたちに寄り添い、健全な心と体の保持に全力を挙げたい。

後ほどのお時間の中で、いろいろな点からご意見をいただけるとありがたいと思う。

### 【議事】

【教育長】議事に入るところではあるが、議案第4号及び議案第5号は、予算に関する議案であり、市議会の議決を経て決定する案件である。また、議案第6号は個人情報に該当するため、いずれも本日の審議は非公開とし、会議録及び議案は後日公表する。

### 【付議事項】

【教育長】付議事項1)第四次大野市子ども読書活動推進計画(案)について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習・文化財保護課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問があればお願いします。

【馬道委員】6ページの2行目後半から3行目「特に中学生になると教科の学習や、部活動で読書をする時間が少なくなっている」という文章であるが、少なくなっている理由が、教科の学習と部活動に限定しているように読み取れる。部活動だけでなく地域のクラブに入っている子どもや塾に行っている子どもも時間が取れないなど、いろいろな事情があると思うため「部活動」の後に「など」を入れて「部活動など」としてはいかがか。

【生涯学習・文化財保護課長】委員ご指摘のとおり、限定的な形に読み取れるため、記載内容が限定的にならないように考えたい。

【羽生委員】自分自身の生活も含めて、ネットや動画を頼りにしており、自分も活字離れ、読書離れが進んでいると感じるなか、この議案を拝見した。家庭であれ学校であれ、身近に本が手に取れるという環境が大事であると考えたとき、これまでに学校訪問した際に、どの学校においても教室の後ろや、廊下の空きスペースに、おすすめのコメントを付けるなどの工夫をして閲覧できるように図書が置かれていることや、下庄小学校でのブックトークの活動等を拝見したことから、学校では十分に環境づくりがされていると感じた。

計画が引き続き、第四次計画として策定されることは大変にありがたく思っており、平成22年度から実施している、赤ちゃんに向けてのブックスタートが定着していることもありがたく感じている。

8ページの図書館における読書活動の中で、小学生・中学生・高校生を中心とした「図書館部」がSNS等を通じて同世代の人に、読書の楽しみなどを紹介しているという記載があり、上からの押し付けでなく同世代の子どもたちが発信することで、読書の裾野が広がっていく良いツールであると思った。質問であるが、「図書館部」活動は今後も引き続いて取り組んでいくのか、SNSを通じた取り組みがどのようなものであったか、どのような効果があったのかをお聞きしたい。

【生涯学習・文化財保護課長】「図書館部」の取り組みは、第四次計画期間においても引き続き取り組んでいきたいと考えている。SNS等を通じての活動は「図書館部」の部員が個人的なインスタグラムなどを通じて、自分が気に入った本を発信していると聞いている。

【教育長】委員各位のご意見等も参考にしながら、計画の策定を進めていきたいと思う。計画案をまた確認いただき、お気づきの点があればご意見をお願いしたい。

付議事項4) 3月の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

――<各課長説明>――

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】3月の行事予定については、以上とする。

――<傍聴者退室>――

## 【議事】

【教育長】議案第4号 令和4年3月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について、議案第5号 令和4年3月大野市議会定例会提出議案（当初予算案）については、関連があるため一括して審議することとする。事務局の説明をお願いします。

――<事務局長説明>――

【教育長】まず、議案第4号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】続いて、議案第5号についてご意見、ご質問があればお願いします。

【松田委員】令和4年度当初予算（案）説明資料の12ページ一番下に記載される65番の新規事業「子ども食堂見守り支援事業補助」について、もう少し具体的に設置場所や事業主体がどのようなものか聞かせて欲しい。

【こども支援課長】上庄子ども食堂であるが、実施主体は「結こっさの会」で、これまでも上庄公民館で月に1回、子どもさんや地域の方々を集めて食事の提

供を行っており、コロナ禍においてはお弁当を配布に変更して活動を行っている。「結こっさの会」は今年度、上庄地区の稲郷に民家を改修して拠点を構え、新年度から子どもや地域の方々が集う施設を運営していくとのことで、3月ぐらいから活動を開始すると聞いている。この拠点施設において子ども食堂ということで、毎週月曜日の夕方に夕食を提供し、学校の長期休業中には、お昼ご飯とおやつを提供する活動を計画しており、この運営補助として予算を計上している。食事の提供を通じての子どもの見守りや、親子で訪れる方もいるので、保護者の方の子育ての見守りなど、見守りの強化を行うための補助として対応してきたいと考えている。

【松田委員】これは、市内全域の子どもを対象としているのか、上庄地区に限定されているのか。また、市街地にはこのような類似の事業があるのかお聞きしたい。

【こども支援課長】新年度からのこの事業については、市内全域を対象としている。また、類似事業としては、小山地区の小山公民館で子ども食堂を行っている地区団体がある。

【教育長】議案第4号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。  
——<異議なし>——

【教育長】議案第4号については、提案どおり承認する。続いて、議案第5号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。  
——<異議なし>——

【教育長】議案第5号については、提案どおり承認する。議案第4号及び議案第5号については、3月市議会定例会に議案として提案する。

議案第6号 大野市結の故郷伝統文化認証審査会委員の選任について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習・文化財保護課長説明>——

【教育長】人事議案であるため、質問等は省略し、議案第6号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第6号については、提案どおり承認する。

## 【その他】

【教育長】その他について、事務局から何かあればお願いします。

【学校教育審議監】令和4年度の夏季休業中の学校閉庁日について、大野市立学校管理規則第10条第1項で「学校には週休日、休日（年末年始の特別休暇を含む。）及び8月14日から同月16日までの期間以外の日において、日直員を置くものとする。ただし、特別な事情がある場合は、この限りでない。」と規定しており、8月14日、15日、16日の三日間を学校閉庁日としているが、令和4年度においては、12日も日直を置かない日として加えさせていただき

たい。理由は8月11日が山の日の祝日となり、12日を閉庁日とすることで、11日木曜日から16日火曜日までの六日間について連続した休暇を夏季休業中に教職員が取得できるためである。報道でもあるように教職員が不足している現状において、働き方の魅力の一つにつなげていきたいと考えている。

**【事務局長】** 口頭ではあるが、新型コロナウイルス感染症の状況についてご説明させていただく。現在、部活動の全てを2月20日まで中止という意味で自粛とさせていただいている。本日には県の対策本部会議において現在出されている警報が、延長となることも考えられ、その状況により大野市でも延長の方向で対応する準備をしている。中学校では、2月14日と15日に、中学3年生に対して自宅でのオンライン授業を行い、県立高校の一般入試に備えさせていただいた。

小中学校では、児童生徒及び教職員に感染があり、福井県奥越健康福祉センターの指示により、PCR検査を受け、学級閉鎖の対応も行っている。保育所

でも、園児や職員に感染があり、同じくPCR検査を受け、休園の対応も行っている。児童館では自由来館を休止し、児童クラブについては実施しており、放課後子ども教室については、ご家庭にもご協力をいただき、お仕事等の都合でどうしても利用が必要な児童にのみ限定し実施しているところである。イベントについても、2月20日に予定していた生涯学習フォーラムの中止を決定し、2月24日に社会教育功労者表彰式を実施させていただくこととした。

**【教育長】** 各委員から、その他ご意見・ご質問があればお願いします。

**【松田委員】** 最近の話であり、まだ方針等が出ているのかどうかはわからないが、子どもの遊び場づくりに県が1億円を出すということで、3市町ほどが令和4年度に実施するとあった。大野市としても子どものことであるので、教育委員会の中で何か検討されている部分があるのか、市全体で対応されるのか、聞かせていただければお願いします。

**【事務局長】** 新聞でも報道発表されているが、知事とお母さんとの対話の中から生まれてきた事業で、雨が降った時に行く遊び場がないとの意見を受けて、県の自主財源で10分の10補助として、市町に1億円を上限に補助をする制度である。委員ご発言の3市町とは、どこかの3市町で実施が決まっているということではなく、県が3市町分の予算を計上しているということである。

この制度は、例えば大野市で、一度に1億円ではなく、新年度で3,000万円、再来年度で5,000万円、残り2,000万円は次にという使い方もできるとの説明を受けている。子どもの遊び場づくりとしての話ではあるが、地域活性化の側面もあるため、教育委員会だけでなく市全体での検討を行っていくこととなる。当初予算案では対応していない。

**【松田委員】** 屋内の遊び場については、以前の総合教育会議の時にもお話をさせていただいたが、既存の施設でも良いものがあるので、なるべく規模が大きく、自由に入出りできる施設での検討をいただければありがたいと思う。新たな施設をと考えると1億円ではほとんど何もできないのではないかと思う。夏場の天

気の良いときは、ふれあい公園の遊具が新しくなり、たくさんの小さいお子さんと親御さんが非常に喜んで過ごしているが、雨が降った時や冬場は本当にどこにも行く場所がない。スキー場に行くこともあるがなかなか距離が遠いということもあるため、その辺についてもご検討いただけたらと思う。

【教育長】事務局長が説明したとおりであるが、しっかりと検討をしていきたい。

【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会 2 月定例会を閉会する。

午前 10 時 00 分終了

令和 4 年 3 月 28 日

---

(馬道委員)

---

(松谷委員)